

平成24年度第1回鳥取市政懇話会

日 時 平成24年8月7日（火）午後1時30分～3時30分

場 所 鳥取市役所本庁舎6階 全員協議会室

出席者 【市政懇話会委員（13名）】

清水昭允会長、山口朝子副会長、安養寺幸男委員、今川登委員、下石義忠委員、田中仁成委員、谷口博繁委員、塚田武志委員、西山徳枝委員、山根康徳委員、吉儀圭介委員、吉田茅穂子委員、吉村あけみ委員

【鳥取市】

竹内功市長、深沢義彦副市長、羽場恭一総務部長、松下稔彦企画推進部長、武田行雄経済観光部長、谷口正幸環境下水道部長、大島英司都市整備部長、国森洋企画調整課長、安本里美観光コンベンション推進課長、三谷裕之都市緑化推進室長

○司会 皆さん、こんにちは。

おそろいですので、ただいまから平成24年度第1回鳥取市政懇話会を開会いたします。

開会に当たりまして、竹内功鳥取市長よりごあいさつ申し上げます。

○竹内市長 今年度第1回の開催であります、よろしくお願ひいたします。

今年度は、鳥取市政においては住民投票の実施など庁舎の問題が大変大きなテーマであり、それに関連する議論が行われております。住民投票の結果を生かしながら、速やかに防災体制のかなめでもあり市民の皆さんへのサービスの提供の拠点でもある庁舎の問題を具体化することが求められています。そのことについて議会とも連携をとりながら、まず議会の検討が進められておりますけれども、市としてもこの問題についての的確な対応、対処をしていかなければならないと思っております。

本日の協議の議題につきましては、「地域活性化のための本市の観光資源の活用方策について」ということといたしております。観光と言いますけれども、やはり地域の活性化に有効に結びついた形で実施することが必要でありまして、昨今、地域の景気も大変悪いわけがあります。ぜひともこうした観光を地域の活性化の戦略として具体的に位置づけながら、活動を展開していくことを求めています。

具体的に言えば、多くのお客様をお迎えして、地域の幅広い産業分野に、例えば宿泊、交通関係、交通運輸関係、さらにはお土産などを通じて農林水産物からそのほか地域の新しいお土産の製品、そういったものも販売ができるとか、もちろん雇用につながるということも大いに実現をしていきたいと思っております。

全市にわたる観光のあり方として考えていかなければならないわけですし、例えば新市域で取り組まれている、あるいは取り組んでいる国府町雨滝の例では、地元自治会による観光案内所や休憩所を兼ねた農産物直売所の整備が行われようとしていますし、佐治地域の特産品といいますか、地域の農産物などの販売所といったものもあります。河原町の西郷地区も歴史的にもそういった取り組みがありますが、最近是非常に複合的な取り組みとして西郷地区のさまざまな観光資源とかそうしたものを生かしながら、地域の活性化を図ろうということが行われております。また、鹿野町の城下町の街並みの整備といいますか、そういったも

のと食材をいろいろ使った、例えば近年では鹿野地鶏といったようなものですね、鳥取地鶏とも言っていると思いますが、ピヨというのを盛んに製造して売り出そうとしているといった状況もあります。鳥の劇場といった文化的な取り組みも活性化につながるということで、いろいろに取り組みが展開されておりますし、市の方も支援をしております。

そういった各地域で中山間地域の活性化などと組み合わせられたような観光的な取り組み、観光客を対象とする取り組みがありますが、特に本日は白兔地域とか湖山池周辺の地域、漫画の取り組みをどう生かすかなどなど、具体的に鳥取市として取り上げて御議論いただきたいと思うようなテーマも上げております。これらを中心に、議題にありますような地域活性化のための本市の観光資源の活用といったことで、皆さん方の積極的な御意見や御提言をいただけたら大変ありがたいと思います。

もう一つ、鳥取の観光というのは全国に情報発信をして、あるいはアジアの地域に情報発信をして、中国とか韓国とかロシアなど、お客さんを外国からも呼んでくる。外国人観光客といった観点も非常に重要だと思っております、そうしたことが地域の国際化と相まって積極的に行われることも重要だと考えているところであります。

とにかく多くの人に鳥取に来ていただいて楽しんでいただいて、そしてそれによって地域が観光を中心としてもう一回大きく活力を得ていく取り組み。6月のB-1グランプリでは、本通り、若桜街道を歩いていただき、2日間で想定以上の11万7,000人の方に来ていただいた。こういったことが可能だということを、もう我々は実体験しております。近くはしゃんしゃん祭と、それに重ね合う形でまんが王国のドリームワールドや、それから岡山のフジアーノ岡山というサッカーチームとガイナレ鳥取のチームの試合、12日日曜日午後7時からのナイター試合でありますけれども、そのような状況がある中で何とか地元の店が潤うように、そして地元の人たちが何とかこのチャンスを生かすようにしていただきたい。懇話会の委員の皆様方にも、これから積極的に議論だけではなくて、地元で行動できることは行動してほしいなと思っておりますのでございまして、そういった観点からの御意見もあればまた鳥取市としても連携をとらせていただきますので、よろしく願いいたします。

○司会 ありがとうございます。

続きまして、清水会長様よりごあいさつをいただきたいと思っております。よろしく願いします。

○清水会長 皆さん、こんにちは。

また今年度も委員の皆さんには、よろしくお願ひしたいと思っております。

きょうは、テーマとして「地域活性化のための本市の観光資源の活用方策について」ということをいただいております。これを中心にして、皆さんの御意見を出していただきたいと思っております。

鳥取の方も、いろんな今イベントを企画していただいて、民間の方も協力させていただいてやっております。一番初めよかったなと思ったのがエンジン01で、環境大学の各教室もいっぱいになって、また夜学がにぎやかだったという感じで、やはり鳥取は文化意識というか、すごくレベルが高いなという感じがします。いろんな条件が伴って成功裏に終わったのではないかなと思っております。

その後、今度はB-1グランプリ、初日に雨がちょっと降って、出足がちょっとスローで

したが、初日の昼から、また2日目はすごい人数が出ていただいて、食の楽しみというのをみんなが味わったのではないかなと。鳥取の方も結構あれで刺激を受けて、やっぱり食のレベルアップにつながってくるのではないかなという感じがします。

それから、先ほども市長さんも言われたのですが、今、殿ダムというのがすごくきれいなダムができたな。これも観光資源の一つになるし、あそこで、今、そばを打っておられたり豆腐をこしらえておられたりするのですが、もっとにぎやかになってくれたらなと思います。

それから、広域的にはやはりジオパークが世界遺産のユネスコに認定されてから本格的ににぎやかになって、但馬との交流が頻繁に行われております。

それから、もう一つ頼もしいのが、やっぱりアクセスがだんだん整備されてきている。特に念願の駟馳山のトンネルが大体掘る見通しがついて、周辺の道路の方も今環境整備をしていただいております。あれができると、但馬の香美町ほか豊岡などにすごく近くなってくるのではないかなと。但馬の方でもやはり余部の鉄橋がいいぐあいになりました。それから道路の方も余部バイパスができて、向こうに行くと香住バイパスができてということで、豊岡の方もすごく時間距離が短くなってきた。こういう時期に砂の美術館が鳥取でオープンした。ジオパークで西の町の鳥取がまずスタートして、但馬、兵庫県、また京都府の方にジオパークで観光でつながるといのは、本当にきずなが深くなる一つのもとになるのではないかなという感じでおります。

鳥取自動車道が来年開通しますと、本格的に関西圏からお客さんがどんどん鳥取に入ってくるのではないかなと。

そういうことを想定して、今、鳥取でどういう取り組みをしたらいいかというのを今日は皆さんの方からいろんな御意見をいただきながら、今年度の第1回目の委員会をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

○司会 ありがとうございます。では、議事に入りたいと思っております。

鳥取市政懇話会条例第2条第2項の規定によりまして、これ以降の議事の進行は清水会長様をお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○清水会長 では、しばらくの間、議長の座を務めさせていただきたいと思っております。今日の協議テーマは「地域活性化のための本市の観光資源の活用方策について」ということになっております。

白兎地域に関係すること、それからまんが博等を文化にいかにかかしていか、それから湖山池周辺をどういいうぐあいに観光資源として活用するか、3つに分かれております。

初めに、鳥取市の方からそれぞれの説明をしていただきたいと思いますので、事務局の方、よろしくお願ひしたいと思います。

○武田経済観光部長 それでは、最初に白兎地域の観光資源を活かした地域の活性化について説明させていただきます。

経済観光部長をしております武田といいます。よろしくお願ひいたします。

資料をめくっていただきまして、1ページをごらんいただきたいと思います。

白兎地域の観光資源を活かした地域活性化についてということで、取り組み状況をまず載せております。白兎地域は御案内のように白兎海岸ですとか、あるいは白兎神社、因幡の白ウサギの舞台ということで、古くから有名であります。

また、一方でハマナスの自生の南限地帯としても有名ですし、白兔神社の社叢といいますが、森が国の天然記念物などに指定されておるという状況もございます。

そういった中で、平成18年には道の駅神話の里白うさぎが完成いたしまして、大変多くの観光客の方に来ていただいております。

また、白兔海岸を含めまして山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークに加盟が承認されたということでありまして、さらに同じ年に恋人の聖地ということで認定されておりました、非常に多くの観光資源というものがございます。

今年度は、この白兔海岸の西側でございます気多の岬の展望スペースの整備とイベントの開催を考えておりました、現在、庁内の関係各課、また鳥取市の観光コンベンション協会、また地元の白兔の関係者の方によりまして白兔海岸周辺観光振興検討チームというのを設置して、この白兔海岸周辺地域の利活用の方針ですとか、気多の岬の展望スペースを含む白兔海岸の周辺地域の環境整備、また環境整備が終わった後の活用方法、維持管理方針などについて検討を行っている状況でございます。

ちなみに、この検討チームの会議を6月29日に第1回を開きました。さらに、先月7月27日には第2回を開いておりました、具体的な議論をいろいろと進めております。今月の末には第3回を予定しております、ハード整備並びにソフトの活用について、詰めの議論を行っておるところでございます。

資料をめくっていただきまして、今説明いたしました白兔海岸周辺の既存の観光資源、それぞれの区分、食であるとかあるいは観光商品、歴史文化とか自然景観、体験、その他ということで、番号を振って載せております。

それから、資料の3ページをごらんいただきますと、この観光振興に向けた取り組みということで新しい商品を開発しております、例えば結び石ですとかあるいはロールケーキ、落雁とかうさぎ焼きといったお菓子のたぐいのもやっておりますし、また(2)番の若者会議によりまして婚活イベントでありますとか、また(3)番には恋人の聖地のPRの推進ということで、さまざまなイベントを現在も実施しております。

4ページは、先ほど白兔海岸の方の検討チームでいろいろと議論を進めておるといのがこのところでございます、周辺整備事業ということでもあります。右下の地図をごらんいただきたいと思いますが、右端の方に出っ張っておりますのが気多の岬というところでございます、現在は車どめ等があつて市道が通行できないような状況になっておりますけれども、ここを通行できる格好にして、既設のあずまやは現在でもあるわけですが、ちょうど真ん中あたりに展望広場及びあずまやを今回整備して遊歩道で行けるようにする、こういう計画であります。

ここは眺望がいいところでございますので、この展望広場、あずまやを新しく整備することによって、この道の駅からこちらの方に人を誘導するような散策コースなどもつくって、さらににぎわいを増していきたいという考えであります。

5ページが先ほど申し上げました白兔海岸の観光振興検討チームの設置要綱でございます。以上が白兔地域の観光資源を活かした地域の活性化についての概要でございます。

続きまして、マンガ等の文化を活かした地域の活性化についてということで、資料の7ページをごらんいただきたいと思っております。

御案内のように、県がメインになって進めておられますまんが王国とっりの取り組み、8月4日にはまんが博というものがスタートいたしまして、いよいよ本格的にまんが王国とっりのイベントがスタートしておるわけですが、この取り組みと連動いたしまして、鳥取市が有しております漫画に関する資源を生かした取り組みをどんどんやっていこうではないかと。そうすることによって、鳥取市の文化、観光、地域振興などを含めた総合的な活性化をやっていこうではないかということで、県のまんが王国官房、また庁内の関係課、それから鳥取環境大学ですとかあるいは新聞社の方にも参加いただきまして、マンガを活かした鳥取力向上チームというのを設置しております。その中で基本方針を策定したり、あるいは具体的な事業の実施、さらには情報発信を進めております。

平成24年度、今年度は原画展、写真展、まんがフォーラム、講演会等々、さまざまな事業を実施する予定となっております。後ほど具体的な事業を紹介いたしますが、7ページの下段の方に載せておりますように、今後の方針といたしまして漫画を活用した地域の活性化をどんどん進めていこうではないかということと、それから2点目は観光にも生かしていこうではないかということで、漫画をテーマにした観光商品とか観光ルート、こういったものも開発し、それをどんどん売り込んでいこうではないかということにしております。

3点目といたしまして、将来につながる人材育成、産業振興、教育・文化振興ということで載せておりますが、この漫画を活用して教育とかあるいは文化活動の展開をやっていって人材を育成していこうということと、漫画の作品化などを通じて鳥取のPR、また新たな観光資源の発掘、産業への展開、こういったものにもつなげていこうではないかということも考えております。

4点目といたしまして、今回のこの国際まんが博によって生まれました取り組みを継続し、さらに育成することでこの漫画を鳥取の文化の一つとして位置づけて、定着していこうではないかと考えております。

資料をめくっていただきまして、8ページがマンガを活かした鳥取力向上チームの設置要綱でございます。

9ページに、既にやっております事業、例えば鳥取環境大学で行われました里中満智子さんをお迎えしての公開講座ですとか、あるいは竹内市長との対談、こういったものも実はこの漫画のイベントと銘打って、5月27日に既に開催して、たくさんの方に来ていただいております。

以下、ずっと下の方に現在もやっておりますイベントもたくさんございますし、これからやるイベントもメジロ押しでございます。

本日、皆様のお手元に「マンガで満喫鳥取市」という冊子を配付させていただいております。これも今回のこの漫画を生かした取り組みの一環で、鳥取市の方でこの前やっどできましたフリーペーパーでございまして、今回このまんが博にかかわって鳥取市で行われますさまざまなイベントでありますとか、またその次にはいよいよ来週から始まりますしゃんしゃんウイークの案内ですとか、また砂の美術館を初めとするさまざまな観光地の案内、こういったものを載せて、来ていただける方に鳥取市の観光をよりよく知っていただく情報誌としてつくっております。

それから、資料の12ページが先ほど説明いたしました基本方針、少し詳しく書いておる

ものでございます。また、12ページから13ページにかけて、具体的な事業について載せておるところでございます。

以上がマンガを活かした鳥取力向上の取り組みでございます。

○谷口環境下水道部長 環境下水道部長の谷口でございます。

私の方からは、都市整備部と一緒にになりますが、湖山池につきまして取り組み状況なり今後の方針について順次説明させていただきます。

まず、15ページでございます。湖山池の環境改善の取り組みということでございます。最近の湖山池の水質悪化ということが大変問題になりまして、これにつきましてはまず県と市で改善に向けての一層の取り組みを検討するというところで、湖山池会議を設置いたしました。

会議の中で、この予測分析やアンケート調査等、情報収集で議論を行いまして、塩分濃度を東郷池程度まで引き上げる。また、そのために、周辺農家の方には畑作農業への転換をお願いするという方針を打ち出しました。

具体的な取り組みと書いておりますが、恵み豊かで楽しみの持てる湖山池を目指してというパンフレットを作成しております。

続きまして、2番でございますが、畑作農業への転換の確認書の締結ということで、湖山池の水を利用しないことを前提とした畑作営農への転換に合意ということで取り組んでまいりました。

また、ビジョン達成に向けた取り組みでございますが、ことしの3月に湖山川水門を全門開放いたしまして、現在、塩分濃度は5,000ミリグラム／リットル程度を推移しております。アオコやヒシの異常発生は今のところ抑えられておるという状況でございます。

○大島都市整備部長 続きまして、都市整備部長の大島でございます。

湖山池周辺整備状況と緑化フェアに向けた取り組みでございます。

湖山池は平成22年に山陰海岸ジオパークに認定されており、南側の湖山池情報プラザにおきまして湖山池の情報、文化の発信と湖山池学習の活動を行っております。

また、来年秋には湖山池周辺を主会場に、全国都市緑化とっとりフェアを開催することとしており、会場となる公園などの整備を行っております。

具体的な取り組みでございますが、まずとっとりフェアの開催に向けまして、湖山池公園のお花畑ゾーンの整備を昨年度から開始しております。さらに年度が明けましたら青島の簡単な伐採等による園路を整える作業も行っております。

また、2つ目、三津地内におきまして、県の公園管理道路整備にあわせてあずまや、ベンチ等を設置いたしまして、この秋には完成し、湖山池を1周するルートがさらに湖山池のほつりを1周できるようになってまいります。

それとあわせて、湖山池情報プラザでこの6月にも湖山池を1周するジオウオーキングを実施しておりますけれども、それをさらに季節を変えた秋、冬の回につきましても今後準備してまいりまして、さらに来年度になりましたら季節ごとの湖山池1周イベントも企画できればという方向で準備を進めております。

また、先ほど申し上げました湖山池情報プラザでは、青島体験学習ですとか随時それらのイベントのブログによる情報発信等も重ねておりまして、緑化フェアの情報発信と相互に連

携しまして、さらに湖山池の情報発信に努めてまいり所存でございます。

○谷口環境下水道部長 続きまして、今後の方針ということで、湖山池の環境改善の取り組みの方を報告させていただきます。

まず、1番といたしまして、高塩分化に伴う各種環境モニタリングを実施するとともにモニタリング委員会を設置いたしまして、湖山池の水質や周辺の各種動物、植物等の変化等に関し必要なモニタリング手法を検討し、モニタリング結果の評価等の意見、助言をいただきたいと思っております。

2番といたしまして、9月をめどに第3期湖山池水質管理計画を策定するようにしております。

3番といたしまして、湖山池と市民とのかかわりについて、10月末か11月上旬に湖山池シンポジウムを開催いたしまして、アダプトプログラムにつなげていきたいと思っております。これは下にありますが、ディスカバー湖山池の一環としてこういう取り組みも取り組んでいきたいと考えております。

○大島都市整備部長 都市整備部、また都市緑化フェア事務局といたしましても、このディスカバー湖山池キャンペーンを連携して取り組んでまいりたいと考えます。

また、先ほど申し上げた内容のほかに、とっとりフェアに向けましてフェアの後も湖山池公園を引き続き市民の憩いの場、またジオスポットとして御活用いただくために、金沢休養ゾーンの整備につきましてもフェア開催後、26年度、27年度に行っていく予定でございます。

○清水会長 今、鳥取市の方からそれぞれの分野で担当の方が説明していただきました。

テーマが3つありますので、一つ一つ皆さんの方の御意見をいただきながら、また最後には結局トータル的にどうするかということも出していただきたいと思っておりますが、とりあえず白兎地域の観光資源を活かした地域活性化についてということで、先ほど説明していただいたことをもとにして、また皆さんがふだんからあの辺をよく通って、もっとこうした方がいいなということがありましたら出していただきたいと思っております。

○委員 今の御説明で白兎の観光資源の取り組みの現況について伺いまして、実際現地を見ましても、道の駅ができましたから特に整備されて、非常にお話のとおり観光客にも満足を与えられる部分も多いなと思っておりますが、今度、気多岬の方が整備されると、小さな白兎海岸が非常に大きく広がって、いいことだなと思われま。

ただ、1つ私の考える問題点は、必ずしも自家用車ばかりの観光客ではなくて、列車なり航空機なりのお客さんが多いのではないかと思います。そこまで整備されて宣伝をされても、アクセスの面で仮に鳥取駅でもバスターミナルに行きましても、砂丘方面はバスも直接行っているし、表示もしてあります。ただ、白兎の場合どうかと、初めてのお客様がいらした場合には、聞けばわかりますが、そこらの表示が大きな地図だけぐらいで、具体的に何線のどのバスに乗るとか、あるいは列車では末恒でおりにどうするとか、具体的なことがほとんど私の見る限りないわけです。ここらを当局の方はどのようにお考えなのか。今で満足されているのか。ここらについても御検討されているのか。要するに初めての方がいらっやって、どうして白兎海岸に行こうか。鳥取駅におりた場合、飛行場はまた別だと思っておりますが、そこらの具体的なお考えがあれば伺いたい。

○委員 先日、倉吉に行くことがあって9号線を通りましたが、もう空港を過ぎたあたりからずっと渋滞しているのですよね。今、たまたま海水浴シーズンのためかもしれませんが、白兔の道の駅を過ぎたらすうっと行ったのです。そのあたり、鳥取自動車道ができれば緩和されるのかもわかりませんが。

それから、享年はうさぎ年ですごく白兔神社がきれいに伐採されて眺めもよくなって整備されて、あそこに上がっていかれるお客様が随分とあるなど。本当に新しく観光地化したなというのは感じました。

きょうはその展望台の話が中心のようですが、車でも気多岬のあずまやの方にはいつごろから通れるようになって行けるようになるのですか。ただ歩いて行くだけの方ということになると、また車をどこに置くかという駐車場の問題もありますし、そこらあたりどうなのかなと思います。

○委員 白兔の観光振興に関するプロジェクトチームでの検討はいつごろまでをめぐりにされるのでしょうか。私は3ページを見ていて、新しい商品を開発したり新しいイベントもできたりしておりますけれども、こういう新商品の開発とか一つのきっかけになるようなグッズというのは、もう既に開発済みなののでしょうか。その辺、ほかの観光の振興計画みたいなものの完成というか、ある程度の策定の時期はいつなのか。その辺もあわせてお教え願えないでしょうか。

○委員 私も、やはり鳥取駅に降り立ったときにマイカーの方ばかりを対象にするのではなくて、やはりお車でなくてJRでいらっしゃる方にもまず駅に大きな表示をする。鳥取砂丘とかそういうのはもう至るところに右折だの表示がございますけれども、白兔神社というのはまだないように思いますので、それをぜひ、どこに行ってもこちらへ曲がっていけば行けるのだというアクセスの問題と、それから、白兔神社の近いところでサーフィンをする方が非常に多くいらっしゃいます。サーフィンもあそこが大変波乗りのいいところのようございまして人気があるようですが、ぜひサーフィンの方々も一緒に共存できるような形で駐車場などを考えたら、白兔神社とサーフィンとみんな共存していけるのではないかなと思います。

○清水会長 では、鳥取市の方から説明をお願いします。

○武田経済観光部長 まず、最初に白兔海岸一帯に行く交通アクセスの問題について御意見をいただきました。

確かに御指摘の点はごもっともございまして、例えばバスで行くにもいわゆる路線バスが実はあるのですが、そう便数が多くありません。また、バスターミナルに行ってやっとその路線を探せば見つかるというところございまして、そこら辺の案内が現状大変不足しておるとところは事実でございますので、今後改善していきたいと思っております。

基本的には道の駅を中心にしてということですので、どうしてもいわゆる団体の観光バスですとか、あるいは自家用車等々で来られる方が大部分ではございますが、JRでそこから例えば公共交通で来られる方もおられますので、アクセスと案内をこれから工夫して考えたいと思っております。

2点目で、気多の岬を今年度いろいろ整備するということですが、車が入っていただくことは考えておりません。やはり旧道でございまして、非常に幅員も狭く、安全上の問

題もありまして、歩いていっていただく、散策していただくということを考えております。

それから、3点目で、今回の資料に載せておりますさまざまなグッズでありますとか、またこれらの計画の時期でございます。ここに載せております新しい商品は既に開発済みのものございまして、現在既に販売しておるものばかりでございます。また、ここに載っていないもので今後も出る可能性のあるものもたくさんございますし、道の駅ではこれ以外にもたくさんの関連商品等も売っております。例えば砂丘の砂で作りましたモアイ像がなぜか白兔でも、当然海岸ですので、そういったものも売っておったりして、ちょっとしたヒット商品になりつつあるという現状もございます。

それでこの計画でございますけれども、先ほど今月の末に第3回目を開いて、ほぼ詰めの議論をするということで申し上げました。この展望広場ですとかあるいはあずまやの整備につきまして、最終の詰めを今月末ぐらいに予定しております、即座にその事業に取りかかって、何とか年内に遊歩道ですとかあずまやなどを完成させていきたいと思っております。

ただし、それ以外の、例えばハード面をつくったからといって以上終わりというのでは全くありませんで、この検討委員会ではさらにこの既存の観光資源などを使って、どういった資源をどういった組み合わせで使えばより観光客の方に喜んでもらえるのかという視点で、今後ソフト面の検討も随時重ねていきたいと考えております。

先ほど言いましたように、気多の岬まで道の駅から歩いて行くにしましても、それなりの観光客に行ってみたいなという動機づけがないと、距離もありましてなかなか行ってもらいづらいという現状もございます。したがって、どういった魅力づくり、動機づけで観光客の方に歩いていってもらえるのかということもございまして、またこの気多の岬だけでなくして、先ほどもお話に出ておりました白兔神社、今でも行かれる方がたくさんおられますが、この白兔神社だけでなくして、まだまだほかにも2ページのところで観光資源等々を簡単な地図で載せておりますけれども、そういったことも案内するなりして、いわば散策コースの設定などを道の駅で案内するなどの仕掛けを考えて、ここに来られた方がいろんな楽しみ方ができるようなことをこの検討委員会でも今後も引き続き話し合っていきたいと考えております。

それから、最後にサーフィンをされる方がたくさんおられます。地元の観光協会の方たちの御協力で、このサーフィンの方たちが例えば交通の障害になることのないように、いろいろ協力をいただいております。

また、今後もこの地元の方を中心にしてサーフィンを楽しまれる方たちと、先ほど共存共栄ということをおっしゃられましたが、まさに協調して、例えば海岸の環境美化ですとかそういったことも努めてまいりたいと考えております。

○谷口環境下水道部長 渋滞の件でございますけれども、山陰道が開通すれば恐らく交通量は大幅落ちてまいります。逆に、白兔に来られる観光客がぐっと減ってしまうのではないかと懸念もありますので、山陰道を使って西の方に行かれる方が、例えば現在鳥取空港インターですか、あるいはまた松原の周りの辺にインターができるという話も伺っておりますので、観光客の方がそういった山陰道の各最寄りのインターからこの白兔に訪れていただけるような案内を充実して、観光に来られる方はこの白兔海岸周辺にお寄りいただくようなわかりやすい案内を今後は考えたいと思っております。

それから、PRという部分でございますけれども、なかなか確かにいろんなチラシなりホームページ等々でいろんな白兔海岸のPRもやっておりますが、まだまだ不十分であるという部分もございますので、そこら辺は今後も充実していきたいと考えております。

○竹内市長 4名の方から、貴重な御意見をいただきました。武田部長の方からも概略のお話をさせていただきましたが、気多の岬まで基本的にはどこか駐車スペースはできないかという議論はまだ残っていますが、それは別にして、実際は道の駅から歩いていくということを考えておまして、立派な横断歩道橋があったりバリアフリー化も配慮されたようなものになっていますので、できるだけ多くの人を歩道橋も活用していただきながら、岬の方まで行っていただくということでもあります。それによって、いわゆる淤岐ノ島という白ウサギがいて陸に渡ったという島もよく見えるわけですし、こちらの方に行ってください。

それと、展望広場は海の景色が非常にきれいだという場所であります。特に上の展望広場まで行くと本当に180度視野が広がるということで、ここは山陰海岸ジオパークの一番西の端になっているわけですので、そういったことも含めてこの場所、この岬の部分を観光資源として活用するという方針を議会とも話し合っていておまして、ハード面の整備は今年度まずやろうということになっております。

実は、どうしてそこまで行ってもらおうのかということが大きな課題でして、そのためにはあずまやと展望広場があるから行ってみようかという人は数が少ないわけですし、やはり恋人の聖地とかそういったことで何かプラスアルファの、そこに行ったらいいことあるよと。例えば恋愛が成就するとか、そういう場所に仕立てて、行ってもらおうようにしようではないかというあたりが今の大きな課題でして、皆様方にいろんないいお知恵がありはしないかと期待をするところでもあります。

もう一つ、サーファーについては、どういうふうに入れて、どういうふう喜んでもらってお金を落としていただくかという工夫が要るのですね。鳥取では、サーファーを受け入れてまちづくりをしようという動きが青谷の夏泊や井手ヶ浜で行われており、あの辺は大阪から来られたサーファーが定住してレストラン兼サーファーの宿を提供したりしておられます。サーファーを受け入れるまちづくりで成功している例は幾つかあるらしくて、四万十川の方にあるとか、オーストラリアにあるそうです。白兔でも、それから井手ヶ浜でも、あるいは今の夏泊とか船磯とか、ああいったところもサーファーが多くいるところなので、それからこの小沢見と白兔、鳥取は非常に鳥取自動車道ができると関西からたくさんの方が来る可能性があって、サーファーはキーワードだと私も思っているのですが、なかなか地元の説得がうまくいかないというか、ハード面の整備をすれば問題なくなるのかもしれませんが、そのような悩みがもう一つあります。

あと、交通アクセスについては、麒麟獅子バスが砂丘とかかろいちなどに行っていますよね。だからもう1台でも買って、かろいちを経由して白兔の方に行く千代川左岸のバスと右岸のバスで、もともと国府町なども行っていたので、砂丘と国府町あたりをつなぐという新たな路線の設定なども考えられる、観光バスを。これは観光協会の方の事業として鳥取市が提案しているというか、お金を出して実行してもらっていますが、一般のバス以外にもそのようなことを考えられるところです。

以上、3点ほど私の方からの補足と言いましたが、結局そういうことをしたらどうかと考

えながら検討しているところというあたりです。

○委員 白兔の先ほどのサーファーの件ですが、青谷の方はサーファーの方たちを受け入れるかわりに浜をきれいにしていただく。地元のいろんな清掃活動のときに、サーファーの方も来て一緒にきれいにしていただくような取り組みもしておられるように聞いております。だから受け入れ方によっては、サーファーの方たちも楽しんでいただけるのではないかなど。

それと、気多の岬のことですが、夕日をあそこで眺めるとすごくきれいだということですが、もっと末恒寄りというか、もっと東寄りの方の浜から淤岐ノ島を見据えて、それに夕日が落ちる。海岸の方から見る方がはるかにきれいだと思います。ですから整備されるのであれば、気多の岬は、昔は確かにバスが旧道で走っていたのですが、今はもう本当にうっそうとしていまして、西側の方にちょっと自動車をとめるようになっているのですが、あそこはトンネルのすぐ間近で、かえって自動車だと交通事故なども起きると思いますので、やはり遊歩道というのが一番ではないかなど。

ただ、あそこをもう本当に明るく気持ちのいい場所にしていただかないと、かなりうっそうとしていて行きたくありません。そういう点をもう少しいい整備をしていただくということと、もう少し末恒のJRを使ってでも来られるような方を思われるのであれば、そういう海岸を歩きながら夕日を眺めるというのも一つかなと思っています。

○清水会長 では、次は2番目のマンガ等の文化を活かした地域活性化ということで、先ほどマンガで満喫というパンフレットも配っていただいておりますが、漫画について何かいい御意見がありましたら出していただきたいと思います。

○委員 まさに今、旬なネタの話ということで、どうしてもやっぱり県の方が率先してやられているような感覚がありまして、鳥取市としての特に観光として成立させるこの漫画の施策という部分は、慎重に事を運んでいかなければいけないのかなど思っております。特に、観光として漫画が成立した一つの例は境港しか思い浮かびません、まさに県内の西側の境港が一番の例であり、ああいった形で確かに商店街を初め水木プロダクションなどの協力で成功するという事は、なかなかちょっと鳥取市ではまねはできないのかなど思っております。ない角度でのやはり観光での戦略に結びつけていく上でも、やっぱり漫画家を育てるような地域にしていくという部分も人づくりの部分、要素が必要かなど思っております。芸術の都と言われるような文化圏の鳥取市のよさという部分を、もっと何かダイナミックな表現でできないのかなど思っております。

あと、気になる点として、いろいろと開催イベント等もやられたり、また今後やろうとしている部分もあるのですが、例えば9ページが一番下から4番目にあるような公募ストーリーによるマンガ制作事業は、今もう入っている時期なのでしょうけれども、これを例えばそういうストーリーを募集して出版するという、鳥取市出身の漫画家の方に出版していただいたとして、出版してこれどうされるのかなどいうのをちょっとお伺いしたいのです。単純に販売して、地域としての、自己満足として販売をただ単にするのか。そうでないのかもしれないけれども、客観的に見てこれが売れるのかなどいうのが半信半疑なのです。非常におもしろい手法ではあるのかなど思いますが、ちょっとお伺いしてもよろしいですか。

○松下企画推進部長 これはこれから始める事業でございます。全国から鳥取市東部をメイン会場としたようなテーマでストーリーを募集した上で、その中で選考されたものを東部出

身の漫画家の先生にかいていただいて、これは大手の出版社とタイアップしまして、そういう準備も既に進めておりまして出版していくという事業でございます。これは鳥取市を全国に売り出すためにも、また鳥取市にこれだけの人材、漫画の先生方がいるということを示すということもありますし、また地域の子供たちであるとか方々に十分こういう人材がいるのだよということ。それから、鳥取市がテーマになるとこんなストーリーでこんな漫画ができるということを出していくことによって、漫画による鳥取市の文化度の向上にもつなげていこうという考えを持っておりまして、初めて行う事業ですので、今、いただいたようないろいろな不安は我々もございますが、ただ手をこまねいてやらずにおるよりやった方が絶対いいわけで、とにかく1歩でも2歩でも前に出ていこうと。よそがやっていないようなことをやってみよう。文化というものをもっと輝くものにしていきたいという強い気持ちを持って企画したものでございまして、請う御期待ということでお答えさせていただきます。

○委員 漫画に関してということではちょうど見ておりましたら、イベントの中で8月11日に「るろうに剣心」の映画公開を前にしての大友監督のトークイベントがあると書いてあります。この「るろうに剣心」というのは大変若い世代に人気の映画で、8月25日からの全国公開を前にして、もしかしたら爆発的なヒットになるのではないかとされています。そこがまさしく鳥取が舞台であったということは、やはり今、やらないでおくわけにはいかないということだと思います。

それで11日の先行的なトークイベントはもちろんすばらしいのですが、25日の全国公開を後にして仁風閣を売り出すという形で、ここで例えば仁風閣のエキストラが本当に100人、150人地域の方が出ておられますし、それ以外に100人近い追っかけが全国からこのロケ地に来たという実績もある中で、有名な俳優さんが食べた鳥取でのロケ弁当を仁風閣で発売するとか、なりきり「るろうに剣心」みたいなコスプレを仁風閣で8月25日の公開後に打ち出すという形で、この公開後に大きなイベントを打って出るということもぜひ考えてみられたらどうかと。

それに加えて、この鳥取はいろんなところがロケになっていますが、そこがロケ地だったということをあらわす掲示板が一つもどこにもないのが残念で、先ほど白兔の方でも「アテナ」の映画のロケ地であったということがどこだったのかもわからないということではなく、こうだったということ、ここに座ったのだということ、それこそ場所を書いたり、いろいろな形の仕掛けで仁風閣も打ち出してほしいなと思いますので、ぜひ企画を入れていただきたいなと思います。

○委員 まんが博について、昨日行かせていただいたのですが、青山剛昌さんとか水木しげるさんの仕事場の風景も見られて大変勉強になったのですが、あと新しい最近の漫画もあったので、若い人にはうれしかったのではないかと思います。

その中で、やはり最近の若い人たちは谷口ジローさんを余り知らないのではないかなと思ったので、もしまたこういうイベントがあるならば、谷口ジローさんだけではなく、若い人に人気のある作家さんと呼んだりしてトークイベントを開いたら、また人がもっと来るのではないかなと思いました。

また話は違うのですが、7月の末ごろに鳥取の八頭町の方にニコニコ動画というイベントがあり、八頭町のきらめき祭と合同してイベントを開催していましたが、ニコニコ動画の

イベントの方には人はたくさん来たのですが、肝心のきらめき祭の方には人が余りいなかったもので、今後そういう有名なところと地元の祭りが合同でイベントを開催するときに、どちらにも人が入るような工夫が何かあるのならばお聞きしたいなと思います。

○委員 今年はまだまんが博で、あるいはまんが王国建国といったいろんなイベントを多彩に繰り広げられていらっしゃるわけですから、今年は今ここに上がっているイベントをもっとどんどん積極的にPRして行っていただいて、まだまだやっていることを御存じない市民の方が現にいっぱいいらっしゃる、まんが博をやっているけれども関連のイベントのことは全く通じていなかったり、現実はやっぱりそうではないのかなと思っています。

この週末、布勢の方にも行ったのですが、結構駐車場は本当に満車ではないかと言われていたのですが、結構気楽にとまれて、まだまだ集客という部分では、これは県の方に言わなければいけないのかもしれないのですが、もっともっとPRを今からでもする必要があるというのがまず一つです。

ただ、鳥取市にとってもっと大事なのは、今年の一連のイベントを成功させることは前提として、やっぱり次年度以降、来年度以降この動きをどう定着させていくのかとか、漫画という切り口に取り組みされて、これをどうまちづくりとか鳥取市の魅力づくりにつなげていくのかということの方がもっと大切なのではないのかなと思っています。今、谷口ジローさんは余り知られてないという御指摘もあったのですが、でもやっぱり鳥取市でやろうと思うと、僕は谷口ジローさんの魅力をアピールすることは欠かせないテーマだと思っています、谷口ジローさんの漫画のよさというのは人によっていろいろ受けとめ方は違うと思いますが、やっぱり昭和の懐かしさとか、レトロ感というほっとするような心の安らぎというのを、やはり私どもの中高年世代、あるいはもっと若い人たちの間でも、そこはもっと鳥取市の魅力としてアピールできるのではないのかなと思っています。

それをアピールするために何が必要なのかといいますと、例えば9ページからずっとある一連の事業の問い合わせ先などを見ていると、やっぱりどうしても行政が中心になってしまっているんですね。ここを例えば地元の商店街の人たちとか、経済団体の皆さんがどう積極的にこういう漫画のイベント、あるいは漫画のまちづくりということに取り組んでいただけるのかということ、これは巻き込んでいくということの言い方にしかできないと思うのですが、そこもテーマなのかなと。

ただ、経済団体といっても、なかなか漫画に接していらっしゃる世代ではないのかもしれないので、例えば本当にもう純粋なNPO法人の人とか純粋な学生の団体とか、思い切ってそういう人たちのアイデアを酌み取れるような場をぜひ設けていただいて、普通のサラリーマンとか経営者とかにはない発想を取り込んでいかなければ、漫画をテーマにしたまちづくりというのはなかなか生まれないのかなと。

レトロなまちづくりをしてほしいということと、それと地元の商店街とかそういう民間団体とのつながりを持ってほしいということ、それからNPOとか民間団体などのつながり、そういうアイデアをぜひ引っ張っていただきたいと、3点だけを申し上げました。以上でございます。

○清水会長 では市の方から説明をお願いします。

○武田経済観光部長 最初に、「るろうに剣心」は非常に人気のある漫画で、それがこのた

び映画化されるということで、しかも人気のイケメン、若い男優さんが主演になるということで、非常に若い女性を中心にして人気があると聞いております。

お話にありましたような例えばコスプレでありますとか、あるいはここがロケ地であったという、先ほどの白兔の話もございましたけれども、そういったきめの細かい観光情報につながるような情報提供、これらを参考にさせていただきます。どんどん情報発信して、仁風閣の観光資源としての価値を高めてまいりたいと考えております。

それから、若者に人気のある漫画家をいろいろ呼んだ方がいいのではないかと御意見も伺いました。確かにそういった部分もあろうかと思えます。例えば、現在でも因幡万葉歴史館で行っております安彦良和さん、ガンダムで有名な漫画家の方でございまして、この方がサイン会をやったときには、非常にたくさんのファンの方がこの万葉歴史館にも来ていただいております。

また、渡辺美術館の方では藤原芳秀さん、これは「闇のイービス」ですとか「三国志」「拳児」、これもどちらかという若い人が非常によく読まれておる、いわばアクションが売り物の漫画でございまして、この方などもいろいろと若い人に人気のある漫画家でございます。

やはり鳥取市あるいは東部地域に御縁のある作家ということで、なかなか限定はされるのですが、できるだけそういう若い人の人気といったものも考えていろんなイベントをやっていたらなと思えますし、それだけではなくして、最後の方にありましたように谷口ジローさん、やはり何といっても一番有名なのは鳥取市出身の漫画家は谷口ジローさんでございますので、この人の醸し出す漫画の雰囲気、昭和レトロということになろうかと思えますけれども、そういったものもあわせていろんなイベントを仕掛けていければと思えます。

それから、途中出ておりました例えばニコニコ動画のイベントなどとタイアップして、いろんなPRをやったらどうかということもございました。大変参考になる御意見でございまして、これからやはり皆さんがスマートフォンに代表されるように家でコンピューターのネットワーク情報に触れるということなくして、いつでもどこでも外でいろんな情報、ネットの情報などを手に入れられる、また情報発信するような時代になっておりますので、そういった媒体を使ってのPRも今後ますます重要性が出てくるのだろうなという思いもしております。まさにいろんなイベントの情報発信は、そういった媒体をどんどん使っていくことにしたいと考えております。

それから、谷口ジローさんの関連で、地元の商店街なども巻き込んでいろんなことをもっとやってはどうかということでございますが、地元の商店街なども巻き込んだイベントも仕掛けていきたいと考えております。

それから、NPOですとかあるいは若い人の意見を酌み上げるような場をつくらないと、自己満足で終わってしまうようなイベントではなかなかお客さんが呼べないということも確かにございます。何らかの機会なり、あるいは手段を設けて、そういったNPOの方ですとか、あるいは若い人の意見を酌み上げるようなこともやっていきたいと思えます。

○委員 まんが博があるということは本当にもう周知徹底していて、その中身がいついつ何がある、どこで何があるということはほとんど知られていないと思うのです。

それから、このまんが博が次の世代にもつながっていく。一時的なイベントではなくて、

次の世代にもつなげてこの地域を活性化していくためには、やはり若い人たち、2009因幡の祭典では随分と若い人たちが活躍してくださいました。あれと同じように、今回のまんが博においても若い人たちを動員して、そして子供を連れてあそこに見に行こう、ここに見に行こうという体制づくりが必要ではないかと思っておりますので、そこらあたりよろしく願いいたします。

○清水会長 では、3番目の湖山池周辺の観光資源の活用について御意見がありましたら出していただきたいと思っております。

○委員 先般通らせてもらいまして、湖山池が非常にきれいになったなという第一印象でして、すばらしいなと思って見たのです。

あそこがこれからいい光景が、人気が出るのではないかなという印象を持ちましたので、今やっておられることを進めていただいたらありがたいなという思いで見させていただきました。

○委員 非常に環境が大分よくなってきていると思っております。一時あそこを通れば非常に悪臭がしていました。我々の子供のころには非常に水の環境もよかったのですが、今、水門をあけていただいてまた非常によくなってきております。これからも湖山池を中心にして、また白兔海岸もあれだけのスペースでございますし、湖山池、白兔海岸を通しての観光地といえますか、そのような計画を立てていただきたい。

それと、先ほどのまんが博の件にいたしましても、その期間、8月から11月までですが、やはり境港の妖怪の非常にあそこが経済的にも潤っておりまして、年間通じてずっと観光客が入ってきております。鳥取市のしゃんしゃん傘踊りは延々と続いてにぎやかになってきております。このまんが博も、これをずっと継続できるようにお願いしたいと思っております。

○委員 湖山池自体に対する観光資源という意味合いでいえば、旅行会社から見たら、いわゆる観光地として行く行き先にはなり得ない。来年の都市緑化フェアに向けて公園整備とかいろんな整備されていくわけですから、そこで初めてやっぱり全国的に打って出るという形をとられた方がいいのではないかと。

あと、観光資源という意味合いでいえば、以前、吉岡温泉でナマズ料理を開発してやるというのを、たしか5年か6年前ですかね、あの後、何も聞いてはいないのですが、あの後どうなったのかなというのもちよっとは気になっているところです。いわゆる湖でとれる魚介類、そういうのをやっぱり食材として活用する方法を今後は考えていかれないといけないのかなと思っております。

まんが博について、動線がどうしても悪いものですから、外に出ている店が全然潤ってないですね。それから、駐車場がもうがらがら。土日でやっぱり初日、2日目ということで、本当はいっぱいになればいけない事業だと思うのですが、その辺の取り組みについてまでそこまできちんと情報発信ができてないのか。ちよっと魅力に乏しいのかなという感じはちよっと見受けられます。

鳥取市の取り組みとして漫画がずっとこのまま根づくかということ、なかなかこれ根づきづらいのではないかなとは思いますが、ただ、まず最初に鳥取市の文化として根づかせる。その根づかせた中で観光資源をどんどん開発して行って、将来的に境港のような大きな取り組みになればなと感じております。

○委員 先日ある方が青島は実は鳥取市のものではないというか、大阪の方の業者の方が持ち主で、だから余り開放されていないというか、市民が気軽に入ってどうこうするということができないということを知ったのですが、以前はこどもの日に盛大にイベントを行っていたのではないですか。あれがそういえば最近青島でないなというのでちょっとお聞きしたいのですが、どうなっているのでしょうか。

○清水会長 こどもまつりをずっとしていましたが、あれをやめたのはあそこの橋の強度が、あそこをもう渡るのが難しくなってこどもまつりはやめようということでやめておるのですが。

○竹内市長 出合いの森でやるようにしています。

○大島都市整備部長 一部の土地について、賃貸借している土地はありますが、基本的に市が借り受けてすべて公園として公開しておりますので、地権者さんが立ち入りを制限するか、そういった状態にはなっておりません。

○竹内市長 私もこの間夕方出かけてみましたが、カップルみたいな人とか中高年の方とか、よく歩いたり、渡ってきていろいろ楽しんでおられました。

○委員 八重桜ロードがすごくきれいなのです。八重桜がずっとあの周辺に植えてありまして、とてもきれいなのです。

○竹内市長 おっしゃるとおりです。いつでも行ってください。魚釣りもできます。

○清水会長 そのほか、何か皆さんの方で、今度はトータル的にありますか。もしないようでしたら、湖山池の方のこれからイベントがいろいろありますし、もうちょっとこれ説明していただいたら助かるなと思います。

○大島都市整備部長 それでは、「水と緑のオアシスとっとり」と書きましたパンフレットで御説明申し上げます。

まず、会期でございますけれども、下の方でございますとおり連休から連休へ渡る形になっておりまして、来年9月21日から11月10日まで51日間を予定しております。主会場といたしましては、湖山池の東岸、お花畑ゾーンを主会場といたしまして、その他、サテライト会場といたしまして東郷湖羽合臨海公園とかとっとり花回廊と連携し、鳥取県内に観光客を回していくという取り組みを行っております。

裏をめぐっていただきますと、お花畑ゾーンは有料会場を予定しておりますけれども、水と緑に包まれた世界ジオパークのまちからということで、やはりフェアの期間中にしか見られないゾーンも用意いたしまして、右下にポール・スミザーさんという日本ではナチュラルガーデンの第一人者と言われております方にアドバイスをいただき、鳥取の地元の植物を生かしながら、園路をたどっていきますと絵本をめくるようにいろいろな光景が出てくるといった楽しめるイベント会場を目指しております、このイラストに大きく出ておりますのはアースガーデンと名づけております。やはり砂丘のまち鳥取というところで、実際お花畑ゾーンには砂地というのは現時点ではないわけですが、この会場の中で鳥取らしい、ジオパークらしい風景を石のパノラマで体験していただくということも盛り込んでおりまして、この少し砂のがけみたいな模様が出ておりますけれども、この部分には屋外で砂像をつくる時に砂を固定する技術を応用いたしまして、砂地の風景のミニチュア版のようなものをつくりまして楽しんでいただこうと。花と緑、それから鳥取らしい砂の光景を創出しようと考えて

おります。

また、右下の方にはトンボのようなものとカカゲのようなものを置いた砂で作りました花壇も、まだこれはイメージイラストですので実感がなかなかかわかないかと思いますが、そういったところでも鳥取の地元の花、かつ鳥取の砂丘のイメージをうまく植物と組み合わせ、ジオスポットらしい魅力をつくるといった取り組みを行っております。

実際、この緑化フェアは全国を回っておりますけれども、30回目の節目を鳥取で開催していただけるということで、さらにこの9月からは県外、県内に向けた宣伝キャラバンをさらに増強することとしておりまして、このPRに努めてまいりたいと考えております。

○清水会長 今、湖山池の方のことで補足をしていただきました。皆さんの方で、トータル的な御意見を出していただきたいと思います。

○委員 緑化フェアについてちょっとお願いなのですが、実は砂像美術館のときもあったのですが、旅行会社に対して前売り券を早い段階で、第1次でもいいです、第2次でもいいですが、早い段階でちょっと前売り券を観光会社だけではなくて、旅館さんとかそういったところに出していただきますようお願いしたい。

○委員 白兔の件で麒麟獅子をあっちへ回していただきたい。ぜひ、本当に路線バスは少ないですから、自家用車以外はどうしようもないではないかと思えます。麒麟獅子が行けば、砂丘と同じようにやはり知名度も上がるし、せっかくの中身が生きてくるのではないかと思えます。

漫画の方ですが、市長のお話の中にも外国人を優先したいと、最重要視したいというお話がございますが、これはもっともございまして、台湾あたりでコナンがすごく国民的に大受けをしているという話も聞いておりますし、外貨獲得の意味でもそれは外国対応というのが非常に重要であろうと思えます。

そこで、市としてはこの件について、例えば台湾であろうが韓国であろうが、具体的にどのような発信の仕方をし、その具体例がどのようなものであるか。諸外国に対してどのようなまんが博に対する鳥取市の発信の仕方、その具体的な例と、またその成果の予想などがお伺いできればと思えます。

○委員 こちらから見ますと三津の方側でしょうか、小高いところに上がったところに六角堂みたいなものがあるのですが、あれは個人の所有物なのか、公の施設なのか。夜、満月のときにあそこから見たらすばらしいということを伺いまして、夜、暗いと階段をちょっと上がったところなのですが、そこから湖山池の夜景が全部見えるのですね。あれはどういう施設で、どなたの所有物なのか。もしそれが市のものか公のものであれば、皆さんに知られてないので、あそこに上がる場所をもうちょっと整備したり建物も整備すれば、すばらしいものになるのではないかなと思えます。

それから、湖山池周辺は、非常にカーブが多くて接触しそうになり危ないので、曲がり角のところにもう少しカーブミラーをつけていただきたいと思えます。

○武田経済観光部長 最初に、今お話がありました阿弥陀堂という建物でございます。

実は、先般、この湖山池の周辺案内ジオマップというのを地元の方の協力、また小学生の方の協力をいただきまして作成してございまして、布勢の湖山池、青島のところの湖山池情報プラザ等にも置いてございます。その中に、場所とともに、写真とともに紹介しております。

阿弥陀堂ということでございますけれども、建設の経緯は吉田璋也さんが湖山池の美しい景観をたくさんの方に楽しんでいただけるようにということで建設されたものでございまして、現在この土地、建物の所有は、民芸美術館が所有しておられます。

どなたでもどんな目的でも使用できるということでございまして、お茶会でありますとか月見、会議、いろんなイベントに使っていただければと思います。申し込み先はたくみ工芸店、鳥取民芸美術館に申し込んでいただければ利用できるそうです。

ちなみに、利用料は1時間1,000円、電気、ガス、水道代すべて込みということでございます。

それから、山道の草刈り等は地元の方を中心とするボランティアで行っていただいております。ということですので、宣伝してどんどん使っていただければと思います。

○清水会長 それでは、市長さんにきょうのお話のまとめと、それから今後の抱負など聞かせていただいたらと思います。

○竹内市長 湖山池が最後のところで中心的に議論されましたが、ちょっと触れておきたいと思いますが、都市緑化フェアという形で公園整備を中途半端にお花畑ゾーンなどがなっていたのは、きっちりした形で美しい湖山池湖岸の公園にしたいと。それにはやっぱり水の方もきれいにしなければいけないという気持ちも非常に強く、またアオコの発生などもあったので、県とも相談らってとにかく汽水湖化の方針を貫こうということで、平成22年、23年と努力してきた結果が、いろいろ検討して、最終的には23年度に水門もあけるとい、終わりごろに。そういう動きで、もうあと急速に塩分濃度が高まるとともにヒシとかアオコは出なくなりました。

ところが、このところ非常に高温なものですから赤潮の発生が起こりまして、海の中に時々発生することがある赤潮なのですが、36度というような気温がずっと続いて、それであんまり雨も降らんものですから川からも水が流入しないというので、もうどうしてもあつたかくなっているのですね。そういう中で非常に赤潮が出ていて、それがちょっと逃げない状態があるようです。しかし、悪臭があるとかそういうことではないので、ちょっとした何か特別なプランクトンなどの発生が見られるそうでして、それが赤潮という状況があります。

しかし、それはさておき公園整備ができて、鳥取流の緑化スタイルということがここで提案されていて、これがナチュラルガーデンというのですが、これを鳥取市に一つの文化としても広めたいという思いを私たちは共有して、この事業を推進しています。

また、このナチュラルガーデンの基本はイングリッシュガーデンなので、イギリスの庭園ということで、関心ある人はかなりあると思います。ひとつ旅行に結びつけるように、観光に結びつけるようにぜひしてほしいし、鳥取市民にもぜひ行っていろんなことを感じ、学んでもらえるチャンスではないかというのがこの都市緑化フェアで、来年の秋は鳥取県自体がグリーンウェーブと言っていますが、西に植樹祭があり、東に都市緑化フェアがあるということで緑の波ということを行っているわけですが、何とかこの鳥取が主会場ですので、これ期間中に30万人ここに来訪者に来ていただこうとしているわけでありまして、これは一生懸命今から運動を展開していきたいと思っています。

結果的には、湖山池が水もきれいになって、先ほど湖山池を生かした旅館の話、ナマズの話が出ていましたけれども、湖山池を生かした食材としてはシジミですね。ヤマトシジミが

育つ環境にしようというのが目標なので、ほかのものもいろいろ出てきてくれると思いますが、東郷池と同じぐらいの塩分濃度を目指したのはそういうところなので、もう皆さんの食卓に以前は湖山池のアマサギなどが多く出ていたわけですが、これからはシジミが出てくる日も近いということがありまして、鳥取市内のホテルや吉岡温泉などで必ずシジミのみそ汁が朝食に食べられるというような状況を、これは結果的に観光にも随分プラスになると思いますし、シジミ漁師さんというのは非常に高収入なので、労働はきついです。水産業がここで大分出てくると思います。私も松江に住んでいましたが、とてもシジミ漁というのは収益性の高い事業のように感じました。そんなことをちょっと夢見ているということをお知らせしておきたいです。

それから、漫画ですけれども、漫画は今年からまんが王国建国の年ということになっていて、来年以降どうするかというのは我々にとっても大きな課題です。鳥取市は環境大学もあるし鳥取大学もあります。やはり若い人を中心に漫画というものを学ぶとか親しむとか、そういうことができるような環境をつくるのが非常に重要ではないかと思っているのが一つであります。

谷口ジローさんとか、先ほどの鳥取のストーリーを漫画化するというのも、これも複数年かけてどんどん深めていきたいと思ったり、鳥取にゆかりの作品、先ほどのパンフレットを見ていただくと「るろうに剣心」もそうですが、例えば因幡万葉歴史館などで奈良時代の関連で里中満智子さんの展覧会が開かれるとかいうのもありますし、鳥取出身でなくても鳥取にゆかりのあることを漫画化していただくようなことがあれば、万葉の世界とか、安彦良和さんの原画展などもこれ古事記ということになって、古事記の世界と鳥取市との関連が深いといったことも、そんなふうに関係が期待できると思ったり。

要は、漫画において鳥取は何をこれから継続的にやっていくのか。やはり漫画を鳥取出身、あるいは縁がある作品などをどんどん鳥取から情報発信して来ていただく。鳥取が漫画に関連したところだということによって来ていただくようなこと、それから漫画家や漫画が好きな人たち、若い人たちが伸び伸びと漫画の世界に自分が才能を発揮できるような環境をつくっていきたくて考えております。

今、わらべ館が鳥取では漫画のちょっとした情報発信の拠点になっていますが、もう少ししっかりとした漫画の情報発信、あるいは情報が展示できるような場所、町中に拠点を必要とするのではないかと考えているということをお話しておきたいと思ったり、皆様方の問題提起を生かして、今のようなことを当面私が考えていることの中で申し上げさせていただきます。

それから、最初の白兎ですけれども、白兎海岸と湖山池を結びつけるという案は現に吉岡の旅館の方々などが言っておられまして、吉岡の蜆と湖山池はもちろんいろいろに生かすのですが、白兎海岸までみんな出てもらって、漁火を見たりするという話をつい最近も聞いたところ。やはり吉岡、湖山池、白兎、これなどは実際につながっているわけですので、こうした魅力をうまく生かしていくことが求められていると思っております。

今の白兎についてはいろんな提案がありまして、今、交通アクセスの話も出たり、そういうこともいろいろ考えていかなければならないと思ったり。白兎が以前は国道9号線沿い、今のようにきれいに整備されなかった。道の駅ができて、白兎神社も鳥居がきれいに見える

ようになって、神社の方の魅力と白兔海岸の魅力というのがプラスされて、もう一つ、若い人の、サーファーもそうですし恋人の聖地といった取り組み、それを盛り上げるようなプラスアルファのいろんなものが要ると思います。研究会もプロジェクトチームもありますので、そういったところできょうの御議論をもとにしっかりと深めていけたらと思っています。

先ほどちょっと触れられましたが、今は交通量がかなりありますが、山陰自動車道が青谷インターから鳥取インターまでつながると、あちらを通る人はもうほとんど半減することは目に見えています。4割ぐらい、3分の1ぐらいになるかもしれません。しかし、白兔の魅力に引かれて、やっぱりあそこに行く方がまだまだ出てくることを期待しております、古事記以来の日本の有名な場所であり、因幡の白ウサギで有名な場所であり、何とか盛り上げを考えていかなければいけないと思います。このあたりもちょっとお知恵をおかりしたいと、先ほども申し上げたような点でございます。

私の話はこのあたりで、総括ということには必ずしも当たりませんが、前向きに考えていきたい。

まんが博についての海外のPRは、鳥取市独自でやっているものはまだほとんどないと言っていると思います。鳥取県の方で台湾や韓国などでかなりPRをされていますし、我々も鳥取市の観光につながる限りでこれから力を入れていきたいと思っています。機会を見て、鳥取県全体がまんが王国という今打ち出しですので、まんが王国の取り組みの鳥取版、鳥取の取り組みは決して薄っぺらくなって、かなり地についたものを含めて充実していると思っていますので、この内容をもうちょっとまずは地元でPRをしたいなど。これは鳥取市版をつくったというのも県にもお知らせして、県のPRは県のPRで全県のをされますが、鳥取市版で幅広くこの時期の11月までぐらいの漫画の取り組みをしっかりとPRしていきたいと考えているところです。

○清水会長 ありがとうございます。では、松下部長の方にマイクを戻させていただきたいと思います。

今後の予定ほか、説明をお願いしたいと思います。

○司会 清水会長さん、どうも大変ありがとうございました。

今後の予定ということはまだ決定しておりませんので、本日のところはございませんが、1つお知らせでございます。

先ほど清水会長さんの冒頭のごあいさつの中にございましたエンジン01の記録集が完成しました。委員の皆様にご心配いたしますので、お持ち帰りいただいてごらんいただけたらと思います。

それから、もう一つ、今、エンジン02の企画を検討しておるところでございます。またそれについても御期待いただければと思いますので、それらの参考になるように、本日はこの記録集をお持ち帰りいただいてごらんいただけたらと思います。

それでは、以上をもちまして平成24年度第1回鳥取市政懇話会を終了させていただきます。どうも皆様、ありがとうございました。